

・インドネシアの影絵芝居ーワヤン・クリット

演目 シント・ボヨン (シント還る)
(『ラーマーヤナ』より)
出演 ハナ★ジョス ジャワ芸能ユニット

・ワークショップ ワヤン実演体験

- ＋ガムラン演奏体験
- ＋ワヤン・クリット操作体験
- ＋お茶ケチャ体験

HANA★JOSS ハナ★ジョス

2002年11月にジャワ島ジョグジャカルタで結成されたジャワ芸能ユニット。ジャワの伝統音楽ガムランと影絵芝居ワヤンの上演、ワークショップ、作曲、演奏指導、アーティストや子どもたちとのコラボレーションを中心に、2005年より日本を拠点に活動。スタジオ「ルマ・ワヤン」(大阪府茨木市)では、ガムランサークルや、インドネシア語講座も開いている。

HP: <http://hanaioss.net/> ブログ: <http://hanaioss.exblog.jp/>

・ROFIT IBRAHIM (ローフィット イブラヒム)

ジャワ島ジョグジャカルタ生まれ。幼少の頃よりガムランとワヤンに魅かれ、演奏を始める。2005年より日本を拠点に活動。古より語り継がれるジャワの精神と関西弁を自在に操る、新進気鋭のダラン。ハナジョスのリーダー。

・佐々木宏実 (ささき ひろみ)

大阪生まれ。1999年ガムランに出会い、2002～2004年ジャワへ留学。現在大阪を拠点に活動。ローフィットとともにガムラン・ワヤンユニットハナジョスで活躍中。

・西田有里 (にしだ ゆり)

大阪生まれ。2007～2010年ジャワへ留学。ジャワ滞在中に歌うことに目覚める。現在ワヤン楽団ピンタン・ララスでも活動中。 <http://yuriyuruyu.exblog.jp/>

・西岡美緒 (にしおか みお)

大学卒業後すぐジャワに留学。インドネシア国立芸術大学にてガムランとジャワ舞踊を学ぶ。2010年9月に帰国後、現在踊りとガムランの二本立てで活動中。

シント・ボヨン (シント還る)

■ 概要

ラウォノに連れ去られたシントが、ロモの元に無事に戻るまでを描いた物語。

ラウォノはいくつの時代を経てなお、天界のビダダリ（天女）の化身である女を探し求めていた。その女を我がものにするにより、アルンコ国は最強となると考えたのである。

ビダダリの魂はシントに宿り、それがためにシントはラウォノに拉致されてしまう。そしてアルンコ国とアヨディヨ国の間に大きな戦いが起こる。アノマン（白猿）をはじめとする猿の援軍により、ロモはラウォノを打ち負かし、妻であるシントの奪還に成功する。

■ 登場人物

- ◇ ラウォノ【ラーヴァナ】 --- アルンコ【ランカー】国を治める魔王。
- ◇ ロモ【ラーマ】 --- アヨディヨ【コーサラ】国の王子。
- ◇ シント【シーター】 --- ロモ【ラーマ】の妃、天女ビダダリの化身。
- ◇ アノマン【ハヌマーン】 --- 超能力をもつ白い猿、猿軍を率いて、ロモを助ける。
- ◇ コロマリチョ（鬼）
- ◇ ルスモノ【ラクシュマナ】 --- ロモに忠実につき従う弟。
- ◇ クンボカルノ --- ラウォノの弟、鬼の姿をしているが誠実な心を持つ。

■ シーン解説



1 ラウォノとコロマリチョ（鬼）がダンドコの森にやって来た。シントを拉致するため、ラウォノはその魔力で、コロマリチョを金色の鹿に変える。



2 ロモ、シント、ルスモノ（ロモの弟）がダンドコの森で狩りをしていると突然、金色の鹿が舞った。

その姿に魅せられたシントは、鹿を捕まえ王国に持ち帰ることをねだる。ルスモノはシントの周りに結界を張り、ロモと共に金色の鹿を追う。ロモとルスモノはシントの元を離れた。



3 ラウォノはシントに近づこうとするが、結界に触れる度飛び跳ねては転んでしまい、近づくことができない。そこでラウォノは自身の姿を、空腹と乾きに苦しむ老人に変え、シントの同情を買う芝居をうった。騙されたシントは老人の方へ歩み寄ると、自ら結界の外へ出てしまう。すかさず元の姿へ戻ったラウォノは、シントを抱えるとそのまま空高く飛んだ。



4 ジャタユ（怪鳥）がシントを救おうとしたが、ラウォノに敗れてしまう。



7 アルンコ国に着くとすでに鬼たちが待ち受けていた。猿軍団と鬼たちの激しい戦い。クンボカルノはラウォノに戦いを強要される。結果何百もの猿がクンボカルノに打たれ斃れた。



5 ロモが猿軍団を呼び寄せる。魔力を持つ白猿アノマンを頭として、猿の大軍はシント奪還を目指しアルンコ国へ送り込まれる。



8 ラウォノの体にロモの放った矢が命中する。そこにアノマンが空から現れ、大きな二つの山をラウォノの頭上に落とし、ついにラウォノは息絶えた。

【Mitos Jawa(ジャワ神話)】・・・ラウォノの魂は時代を超え現在もまだ生きていとされる。それは山の裂け目から抜け出て人間の心に宿り、悪行を引き起こすと信じられている。



6 アノマンは大海を飛び、アルンコ国へ向かう。何百もの猿の軍団は、大きな浮石を次々と海に投げ込んだ。数ヶ月後、その浮石はとうとうアルンコ国へ渡る巨大な橋となった。



9 シントは、ロモの妻としてまたアディオ国のシンボルとして国に戻る事ができた。

ラーマヤナ

古代インドに起源をもつ長編叙事詩、「ラーマ王子の行程」を意味する。詩人ヴァールミーキの作と言われ、3世紀ころ成立したとされます。東南アジアの広い地域に伝わり、多くの芸能の題材となっている。

登場人物は国や地域が違えば名前呼び方も違う。前頁に登場人物名の【 】内は、『ラーマヤナ』が編まれたインドで用いられる名前である。

お茶ケチャフレーズ

1. お茶お茶麦茶【お ちゃ お ちゃ む ぎ ちゃ】
 2. 紅茶麦茶お茶【こ う ちゃ む ぎ ちゃ お ちゃ】
 3. 茶あくれ茶あくれ【ち や あ く れ ち や あ く れ】
 4. お茶っ葉茶っ葉【お ちゃ っ ぱ ち や っ ぱ】
 5. おっちゃん加藤茶【お っ ち ゃ ん か と う ち や】
 6. 茶渋ちゃんをとれ【ち や し ぶ ち ゃ ん と と れ】
- (みんなで) こころで一服【こ こ ら で い つ ・ ぷ ・ く 】

× 毛

